

☆帝國主義國、後進國、「労働者国家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ/
共産主義者同盟(戦旗派)

10月13日
毎月3回 3日発行
第279号
編集者 藤原 隆
発行所 共産主義者同盟(戦旗派)
一部 50円
郵政振替口座1,200円(平共)

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三軒町2-7-6 電話 97-0900
08202962 郵便 東京114

10月14日 全国救軍連絡会議
10月15日 小西救軍裁判闘争
両日とも新潟現地
10月16日 「沖繩国会」粉砕闘争
6時 日比谷野音

10.21 機動隊残滅・協定批准阻止

全ゆる日和見主義潮流を蹴散らし 佐藤 帝國主義 政府打倒の全人民的奔流を

「全ゆる日和見主義潮流を蹴散らし、佐藤帝國主義政府打倒の全人民的奔流を」というのが、戦旗派の主張である。戦旗派は、佐藤内閣の政策を徹底的に批判し、その打倒を叫んでいる。戦旗派は、佐藤内閣の政策が、日本の主権を侵害し、労働者の利益を損なっていると主張している。戦旗派は、佐藤内閣の打倒を、全人民の奔流として進めようとしている。

商敗した日共スターリニスト、 革共同中核派に最終的鉄槌を

「日共スターリニストは、革共同中核派に最終的鉄槌を」というのが、戦旗派の主張である。戦旗派は、日共スターリニストの政策を徹底的に批判し、その打倒を叫んでいる。戦旗派は、日共スターリニストの政策が、日本の主権を侵害し、労働者の利益を損なっていると主張している。戦旗派は、日共スターリニストの打倒を、全人民の奔流として進めようとしている。

10月20日 日本反帝戦線総決起集会

7時 明大本校

10月21日 日本反帝戦線総決起集会

正午 明大和泉

8代々木公園へ二千五百名結集 批准阻止の戦列構築す

「8代々木公園へ二千五百名結集、批准阻止の戦列構築す」というのが、戦旗派の主張である。戦旗派は、佐藤内閣の政策を徹底的に批判し、その打倒を叫んでいる。戦旗派は、佐藤内閣の政策が、日本の主権を侵害し、労働者の利益を損なっていると主張している。戦旗派は、佐藤内閣の打倒を、全人民の奔流として進めようとしている。

高叛共闘アピール

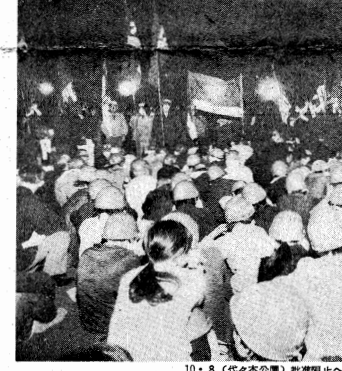
「高叛共闘アピール」というのが、戦旗派の主張である。戦旗派は、高叛共闘の政策を徹底的に批判し、その打倒を叫んでいる。戦旗派は、高叛共闘の政策が、日本の主権を侵害し、労働者の利益を損なっていると主張している。戦旗派は、高叛共闘の打倒を、全人民の奔流として進めようとしている。

10.20全国総決起集会

「10.20全国総決起集会」というのが、戦旗派の主張である。戦旗派は、10月20日の全国総決起集会を、全人民の奔流として進めようとしている。

三里塚戦士3名不当起訴さる

「三里塚戦士3名不当起訴さる」というのが、戦旗派の主張である。戦旗派は、三里塚戦士の不当起訴を徹底的に批判し、その撤廃を叫んでいる。戦旗派は、三里塚戦士の不当起訴が、日本の主権を侵害し、労働者の利益を損なっていると主張している。戦旗派は、三里塚戦士の不当起訴の撤廃を、全人民の奔流として進めようとしている。



10・8(代々木公園)批准阻止へ火線を切る

10.14 共産同 政治集会

日時 10月14日午後五時半開場
場所 牛込公会堂
基調報告 野田晋
挨拶 日向翔

10.21機動隊残滅を完遂し、 佐藤帝國主義 政府を打倒せよ

「10.21機動隊残滅を完遂し、佐藤帝國主義 政府を打倒せよ」というのが、戦旗派の主張である。戦旗派は、佐藤内閣の政策を徹底的に批判し、その打倒を叫んでいる。戦旗派は、佐藤内閣の政策が、日本の主権を侵害し、労働者の利益を損なっていると主張している。戦旗派は、佐藤内閣の打倒を、全人民の奔流として進めようとしている。

全国各地の戦火を10・21総力戦へ

10・8 関西に反帝戦線旗立つ

【本紙記者大阪二十一日電】関西の反帝戦線旗が、二十一日、大阪府浪速区に旗揚げされた。旗揚げ式は、浪速区立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

旗揚げ式は、浪速区立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。旗揚げ式は、浪速区立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

10・11 全九州叛軍連絡会議 結成さる 労学二百名が結集

【本紙記者東京二十一日電】全九州の反帝戦線旗が、二十一日、東京で結成された。旗揚げ式は、東京市立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

10・9 沖共闘結成に向けて 実行委開かる 二〇団体参加

【本紙記者東京二十一日電】沖共闘結成に向けて、二十一日、東京で実行委員会が開かれた。参加団体は二十団体に達した。

10 明大和泉 中核派の登場を粉碎す!

【本紙記者東京二十一日電】明大和泉の反帝戦線旗が、二十一日、東京で結成された。旗揚げ式は、東京市立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

沖共闘結成へのアピール

沖共闘結成へのアピール。全国各地の戦火を10・21総力戦へ。旗揚げ式は、浪速区立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

全関東叛軍 連絡に踏え 全国叛軍新潟現地へ結集せよ

全関東叛軍 連絡に踏え 全国叛軍新潟現地へ結集せよ。全国各地の戦火を10・21総力戦へ。旗揚げ式は、浪速区立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

青行隊三ノ宮君の死を悼む 遺書

青行隊三ノ宮君の死を悼む 遺書。全国各地の戦火を10・21総力戦へ。旗揚げ式は、浪速区立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

全国各地の戦火を10・21総力戦へ。旗揚げ式は、浪速区立中央公民館で、約百五十人の参加者で行われた。

激動する階級情勢と…… 日帝の軍事外交路線

日帝の階級情勢は、激しく激動している。その中心は、労働者階級の闘争である。労働者階級の闘争は、日帝の階級情勢を激しく変動させている。労働者階級の闘争は、日帝の階級情勢を激しく変動させている。労働者階級の闘争は、日帝の階級情勢を激しく変動させている。

厚木基地の日米共同使用許すな 海軍地上支援 作戦基地を解体せよ

厚木基地の日米共同使用は、日本の主権を侵害するものである。海軍地上支援は、作戦基地を解体せよ。厚木基地の日米共同使用は、日本の主権を侵害するものである。海軍地上支援は、作戦基地を解体せよ。

伊達さんを支援する会結成 外務省突入戦士に連帯する労学三〇で

伊達さんを支援する会が結成された。外務省突入戦士に連帯する労学三〇で。伊達さんを支援する会が結成された。外務省突入戦士に連帯する労学三〇で。

労働者は恒武闘争に決起せよ 労働共闘(準)の旗の下、革命的 労働者は機動隊撤滅此 准阻止左藤政府打倒を闘え

労働者は恒武闘争に決起せよ。労働共闘(準)の旗の下、革命的労働者は機動隊撤滅此准阻止左藤政府打倒を闘え。労働者は恒武闘争に決起せよ。労働共闘(準)の旗の下、革命的労働者は機動隊撤滅此准阻止左藤政府打倒を闘え。

今秋武裝蜂起の序曲を 6・17闘争被告阿部康

今秋武裝蜂起の序曲を。6・17闘争被告阿部康。今秋武裝蜂起の序曲を。6・17闘争被告阿部康。

今秋大胆に突出せよ 7・26三里塚闘争戦士開路夫

今秋大胆に突出せよ。7・26三里塚闘争戦士開路夫。今秋大胆に突出せよ。7・26三里塚闘争戦士開路夫。

非公然軍事闘争と結合し 10・21機動隊撤滅を貫徹せよ

非公然軍事闘争と結合し。10・21機動隊撤滅を貫徹せよ。非公然軍事闘争と結合し。10・21機動隊撤滅を貫徹せよ。

労働共闘(準)の旗の下 恒武闘争に結集せよ

労働共闘(準)の旗の下。恒武闘争に結集せよ。労働共闘(準)の旗の下。恒武闘争に結集せよ。

理論戦線

11号

11月10日発売 予約受付中
A5版 450円(〒80円)
東京都千代田区三崎町2-7-6
戦旗社
(振替 東京26110)

- 第一部
 - I 恒常的武裝闘争の旗の下、四・二八正規軍戦に断乎として勝利せよ
共産主義者同盟中央委員会
 - II 日本反帝戦線一回大会、案書
日本反帝戦線中央事務局
 - A 総括 B 情勢 C 任務方針
- 第二部
 - I 「共産党宣言」の主體的把握のために
渡海 俊治
 - II レニン主義の諸原則と何れも
赤目 猫蔵
 - III 第二次共産同の戦略論上の総括
野田 晋彦
 - IV 現代過渡期社会論の深化にむけて
東一 彦
 - V 善悪解放闘争の革命的前進と展開にむけて
村中 泰
 - VI 第二次共産同の階級的労働運動の総括と革命的労働運動の構築めざして
五木 勇
- 第三部
 - I 革マル派の教条的日和見主義理論批判
日向 翔
 - II 永沢の観念左翼・革労働批判
城山 徹
 - III 宇野碩論の批判的攝取と複原
原小ブル経済学批判
室伏 謙二
 - IV 主体と変革派の社民の本質
波島 春樹

労働共闘(準)の旗の下、恒武闘争に結集せよ。労働共闘(準)の旗の下、恒武闘争に結集せよ。

労働共闘(準)の旗の下、恒武闘争に結集せよ。労働共闘(準)の旗の下、恒武闘争に結集せよ。